公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)

連絡先
〒981-0933 仙台市青葉区柏木一丁目2 -45 フォレスト仙台5F
TEL：022-276-5118 FAX：022-219-5710 E-mail：melon@miyagi.jpn.org

事業概要

みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(略称MELON)は、地球環境と地域の環境の保全と持続可能な社会の実現を目的に1993年に結成された公益財団法人です。会員数は、826名を数え、環境講座の開催を中心に活動しています。

特長的な取組

コピー紙は裏紙を使用し、排出する紙類は全てリサイクルに回しています。

また、MELONの特長的な取組として、茶殻その他の生ごみ処理について紹介します。

MELONには毎日お客様がたくさんおいでになりますが、お茶をお出しすると茶殻がでます。これを昼食の食べ残しや果物の皮などと一緒に事務所の中で「手動式生ごみ処理機」に投入して分解しています。

生ごみが出たら投入して手でハンドルをクルクルと回すだけです。電気も使わないし、臭いも出ないので重宝しています。生ごみの減量化により、燃えるごみの袋の排出回数は10日に1回程度です。料理教室やエコ芋煮会で出た野菜屑の分解にも活躍しています。

処理機の名前は「生ゴミ0（ゼロ）くん」です。5年前に導入しました。

株式会社サイコー

連絡先
〒983-0828 仙台市宮城野区岩切分台一丁目 8-4
TEL：022-255-3150 FAX：022-255-9955

事業概要

株式会社サイコーは、ダンボール、新聞や雑誌などの古紙回収、子供会や町内会の集団資源回収、産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬と処分、機密書類の破砕処理サービスなどを行う、総合リサイクル企業です。

特長的な取組

当社では、回収した古紙は種類ごとに選別し製紙メーカーに販売しています。廃棄物は、できる限り再資源化・リサイクルができるよう、お客様にご提案しながらごみの減量とリサイクルに取り組んでいます。

また、お客様のごみ減量・リサイクルの推進だけでなく、社内でも様々な環境配慮に取り組んでいます。最近の取り組みとしては60台以上所有するトラックすべてにドライブレコーダーを設置、安全運転の徹底やエコドライブによる事故削減、燃費向上に努めています。その取り組みが評価され、平成24年11月には公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団様が主催する「エコドライブ活動コンクール」で「優良賞」をいただきました。

回収車両

エコドライブ活動コンクール優良賞を受賞

ワタヒョウ株式会社倉庫部

連絡先
〒984-0015 仙台市若林区卸町五丁目5 - 2
TEL:022-235-3945 FAX：022-238-4354

事業概要

ワタヒョウ(株)倉庫部は、仙台団地倉庫内にあり、従来の保管、荷役、配送業務に加え荷主様とのオンラインでの在庫管理、代行業務等を行い、迅速正確なサービスを提供できるように鋭意努力しています。

特長的な取組

当社では、マイカップの使用や、マジック、蛍光ペン等の事務用品に補充用インクを使用するなどのリデュースに、そして、不要コピー用紙の裏面をメモ用紙として活用することや、新聞紙チラシ等を梱包素材として使用するなどのリユースにも積極的に取り組んでおります。

また、作業車両に低公害車であるLPガスフォークリフトを使用し、銀行や本社への移動には自転車を使用するなど、CO_2削減にも取り組んでおります。

ペンには補充用インクを使用

新聞紙チラシ等を梱包素材として使用

ＬＰガスフォークリフト

3R

Reduce + Reuse + Recycle

事例集 Vol.5

写真提供：仙台市観光交流課

ごみ減量・リサイクルは、環境に配慮した取り組みの第一歩です。

仙台市では、ごみ減量・リサイクルなど、環境に配慮した事業活動を行っている店舗・事業所を「エコにこショップ（環境配慮型店舗）」「エコにこオフィス（環境配慮型事業所）」として認定し、積極的に応援しています。※認定件数（平成24年4月現在）：エコにこショップ 265店舗、エコにこオフィス 254事業所。

認定店舗・事業所の先進性・独自性のある取組事例をご紹介いたします。

皆様の3R活動の参考にしていただければ幸いです。

申請無料

［ 仙台市内の事業者の皆様へ ］

エコにこショップ エコにこオフィスを募集します。

ごみ減量・リサイクルに取り組む環境にやさしい店舗「エコにこショップ」や、事業所「エコにこオフィス」を募集中です。
ごみ減量などの10項目の取組のうち、4項目以上の活動を行っている事業者の皆様の申請をお待ちしております。
認定を受けると、仙台市ごみ減量・リサイクル総合サイト「ワケルネット」や仙台市の各種広報でも紹介されます。

STEP 1 認定申請
- 所定の申請書を入手（申請書は事務局にて配布。ワケルネットからもダウンロード可）
- 環境配慮型店舗・事業所認定委員会へ提出（随時受付・郵送可）

STEP 2 認定審査
- 環境配慮型店舗・事業所認定委員会での審査（認定期間は3年間）

STEP 3 認定広報
- 認定書とシンボルマーク入りステッカーを送付
- ステッカー等の掲出（シンボルマーク画像を名刺等に印刷可）

仙台市環境配慮型店舗・事業所認定委員会事務局（仙台市環境局ごみ減量推進課内）
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目7-17 小田急仙台ビル10階 TEL.022-214-8230 FAX.022-214-8840
E-mail ekoniko-jimukyoku@city.sendai.jp ワケルネット http://www.gomi100.com

これまでに紹介した店舗・事業所（バックナンバー）、認定申請等の詳細については、ワケルネットをご覧ください。

平成25年3月
このパンフレットはリサイクルできます。
再生紙使用

今回の事例集は、
公募に応じて頂いた店舗・事業所の
皆様の『環境に配慮した
取組事例』をご紹介しております。
ご応募
ありがとうございました。

財団法人 仙台国際交流協会（仙台国際センター）

連絡先　〒980-0856　仙台市青葉区青葉山無番地
TEL：022-265-2211（代表）　FAX：022-265-2485　E-mail：sic@sira.or.jp

事業概要

仙台国際交流協会は、歴史・文化など地域的特性を生かした国際交流活動や、市民レベルでの国際理解の推進を図っています。国際交流に関する行事や市民活動の振興、仙台国際センターの管理運営事業を通じて、仙台における国際化の推進に寄与しています。

特長的な取組

不要な使用済封筒を利用し、小さい紙屑も容易に収集してリサイクルできるよう、雑がみ類の分別を推進しております。

また、当協会が事務局となり、市民による実行委員会が開催する「せんだい地球フェスタ」では、留学生や日本人学生のボランティアがエコチームをつくってごみ分別を呼びかけています。さらに、NGO等の方々と協力して開催する「国際理解プログラム」など様々な事業で地球環境問題についても触れています。環境問題は、地球規模の問題であり、国際理解を進める上でも踏まえておかなければならないテーマのひとつと考えています。

雑がみ分別の様子

約160名のボランティアとjump

グリーン購入も大切ね

株式会社仙台ソフトウェアセンター（NAViS）

連絡先　〒983-0852　仙台市宮城野区榴岡五丁目 12-55
TEL:022-298-3700（代表）FAX:022-298-3701

事業概要

仙台ソフトウェアセンターは、行政機関と民間からの共同出資によって設立された特性を活かし、情報関連団体や大学等との連携による産学人材育成、自治体の情報化支援、オフィス賃貸事業等、様々な事業に取り組んでおります。

特長的な取組

当社では、印刷した紙等で不要になったものは適切に分類し、裏紙として再利用できるものは、コピー・プリンター機に設置、紙の無駄遣いを軽減しています。また、メモ用紙としても再利用し、なるべく新しい紙を使用しないよう心がけています。

普段使用している事務用品（紙袋、封筒、ボールペン、クリアフォルダー、ファイル等）はできる限り再利用するよう習慣づけ、新しく購入する前に古いものを利用しています。新しく購入する際には、グリーンマーク商品、エコマーク商品、また再生紙等、環境に配慮したものを購入するようにしています。ごみの分別は、適切に行うよう社員に徹底しており、種類別に細かく分類し処理しています。

その他の取り組みとして、年間を通して昼休みの時間は電気を消灯し、節電しています。これは蛍光灯の消耗を遅くする効果もある為実施しています。当社は、社員一人一人が環境配慮に対し積極的なため、自然と快適なオフィス環境が整備されています。

うら紙をメモ用紙として再利用

不要な用紙を適切に分類・再利用

缶・びん・ペットボトルの分別リサイクルの推進

雑がみの分別も大切だニャ

凌和電子株式会社

連絡先　〒984-0805 仙台市若林区南材木町 48 番地
TEL：022-266-4188　FAX：022-266-4199　E-mail：kankyo@ryowa-electronics.co.jp

事業概要

凌和電子株式会社は、「計測」と「制御」をメインテーマとし、時代に即応した自社製品の提供、特注品の製造、FA製品・システムをトータルエンジニアリングで提供を行っております。

特長的な取組

当社では、営業ごみを減らすために、紙類の分別を徹底しました。ごみ箱には解りやすく写真入りの表示を行っています。

また、紙類もコピー用紙、新聞、雑誌、雑がみ、クラフト紙等に分け、分別を行っています。コピー用紙は裏の白いものは裏紙として再利用しています。

その他に、部材や製品を包む梱包材は使い捨てにはせず、再利用出来るものは2度、3度と使用するようにしています。中には通い箱を利用しているものもあります。

また、当社が取り組む環境活動等（エコキャップ運動、マイバック推進、まち美化サポート活動、エコ通勤の推進、工場内緑化の推進、お昼の消灯による節電、環境配慮製品の設計・製作、環境ニュースの発行（社内報））について、環境・安全報告書にて毎年ご報告させていただいております。

梱包材の再利用

梱包材の再利用

紙類分別の様子

営業ごみ分別の様子

ちょっとした工夫が大事！

株式会社建設技術研究所　東北支社

連絡先　〒980-0014　仙台市青葉区本町二丁目 15- 1（ルナール仙台）
TEL:022-261-6861　FAX：022-264-4423

事業概要

株式会社建設技術研究所東北支社は、建設コンサルタントとして国民の安全と快適な生活を守る社会資本整備のための技術サービスの提供を使命に、国や地方公共団体より社会資本整備の企画・調査・計画・設計・維持管理業務を受託し実施しています。

特長的な取組

弊社は、1998年にISO14001を取得し、成果品の品質向上と共に環境に配慮した事業活動を進めると共にCSR活動にも取り組んでいます。併せて、社会資本整備の企画から維持管理に関する業務を通じ、地球環境に配慮した持続可能な社会づくりに挑戦しています。

弊社の業務では、印刷物の出力枚数が多いため、紙類の使用量削減やリサイクルに特に注力しています。納品物と書類を電子データ化することを推進すると共にスキャナーを活用して不要な印刷を避け、複数ページの集約印刷や、裏紙印刷も心がけています。それでも出る紙ごみは、新聞やダンボールなどと共に分別し資源回収業者へ委託しています。

弊社は、ペットボトルのエコキャップや使用済み切手を回収し、途上国に医薬品、自転車等を贈る運動にも取り組んでおります。社員がリサイクル活動に参加することによって、様々な環境課題について、学び、考え、行動する機会を提供することにより、環境への配慮を習慣化してもらえるような工夫を行っています。

使用済み切手回収BOX

エコキャップ推進協会からの受領書

紙ごみは分別し資源回収業者へ